

## 人材育成学会・第42回研究会のお知らせ

### 「質的研究の特質・可能性を探る」

人材育成の研究分野では、インタビューによりデータを収集するケースも見られますが、アンケート調査や実験などから得られた定量的データを用いることが主流でした。しかし、近年分析手法として「修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ：M-GTA」などが使用されるようになり質的研究も増加してきています。実際、当学会の機関誌「人材育成研究」や年次大会の研究発表でも M-GTA などを使ったものが増えています。

そこで、第42回の研究会として標題にあるテーマでの研究会を企画いたしました。定量的なデータとは違い質的データからどのようなことが解明できるのか、どのようにデータを処理し仮説や理論をつくりだすのか、といったことをシンポジストの報告を基に明らかにしたいと思います。他方で、質的研究といっても多様な側面をもっており、質的研究の「質」が問われる面もあると思われます。また、質的研究を行う際の難しさもあるのではないかと思います。このような点も扱うことができればと考えています。

質的なデータ収集は、フィールドワークや PBL（問題解決型学習）として教育・研修現場でも行われています。質的データをどのように活用され、どういった教育効果を上げられているのかも関心があるところです。

今回は、シンポジストとして、最近では M-GTA を使った研究にも取り組まれている三輪氏と吉澤氏に登壇していただきます。研究の成果とともに苦労・失敗談などもうかがえればと思っています。齊藤氏には、大学教育の一環として行われているフィールドワークなど質的調査を基にした取組みを報告していただきます。

モデレーターは、研究・調査方法論にも強い関心をもっておられます石山氏にお願いいたしました。

今回も ZOOM によりますオンライン方式での研究会となります。シンポジストの報告を基に、参加者も交えて話し合いをすることで、質的研究について理解が深まればと考えています。多数の会員の方の参加をお待ちしております。

#### 【シンポジスト】

三輪卓己氏（桃山学院大学経営学部）

吉澤康代氏（香川大学大学院地域マネジメント研究科）

齊藤弘通氏（産業能率大学経営学部）

#### 【モデレーター】

石山恒貴氏（法政大学大学院政策創造研究科）

人材育成学会 常任理事 城戸 康彰（産業能率大学）

## 事 項

- 日 時        2021 年 6 月 20 日（日） 13：30～ 16：30
- 研究会の方法：ZOOM によるオンライン方式
- 研究会プログラム
  - 13：10～     ミーティングルームへの入場
  - 13：30～13：40 開会のご挨拶・プログラム説明
  - 13：40～14：50 シンポジストからの報告
  - 14：50～15：00 休憩
  - 15：00～16：25 シンポジスト間の討論、参加者を交えた質疑応答・討論
  - 16：25～16：30 終了の挨拶
  
- 参加費：        今回は会員のみ参加とし、参加費は無料とします。
- 申込方法： Eメールに次の事項を記載し、下記の研究会事務局にお送りください。
  - ①お名前 ②ご所属 ③会員番号（会費を既にお支払いいただいております、会員番号が未定の方は「会費支払済」とご記載ください）
  
- 参加通知：研究会が開催されます ZOOM のミーティングルームへのアクセス権限は、期限内に参加申込された方のみ付与されます。ミーティング参加の ID およびパスワードは、Eメールでお知らせします。
- 受講票：上記のミーティング参加の ID およびパスワードの発行をもって受講票といたします。
- 申込み期間：2021 年 5 月 24 日（月）～2021 年 6 月 14 日（月）
- 送付先：        〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15  
                 学校法人産業能率大学内 人材育成学会 研究会事務局宛  
                 JAHRD@hj.sanno.ac.jp / 03-5758-5501(Fax)